



学校運営協議会だより

～コミュニティスクール～

No.02

令和6年10月25日

発行：CS担当

【校訓】 自立 共生 創造

【教育目標】 自ら学び 人とつながり ともに未来を創る

10月22日(火)18時30分から、本校図書室にて委員10名及び本校教職員2名が参加して第2回学校運営協議会を行いました。

澤本会長から、子どもを取り巻く環境の中で物騒な事件が続き、また、日没が早まり交通事故などの心配がある季節でもあるため、子どもたちの安全を最優先に、予防的な措置を講じていく必要性を感じている、とごあいさつをいただきました。

その後、前回は実施した「熟議」では、委員の皆様の活発な意見交流があり、有意義な話し合いとなりました。

また、学校評価(中間評価)の報告や10月29日に行われる「公開研究会」の連絡がありました。



第2回 熟議「本中学校区で育てたい子ども像と具体的な手立て」

学校評価アンケートなどの結果と前回の熟議で話し合われた内容からキーワードを挙げ、2グループに分かれて「本校区で育てたい子ども像と具体的な手立て」をテーマに熟議を行い、「あいさつのできる生徒」「思いやりのある生徒」「人の話を聴く生徒」「自分の気持ちを伝えられる生徒」「自ら目標をもつ生徒」「小樽のことが好きな生徒」の6項目について、具体的な手立てを協議しました。



【各グループから出た意見(一部抜粋)】

- ・雪かきボランティア
- ・子どもたちが自由に語れる場を設定
- ・小樽 PR、小樽 MAP の取組
- ・卒業生、各業界のプロフェッショナルなどからの講演
- ・通学路に花を植栽 ・目標マッピング

今回の熟議で挙げた意見を教職員にも共有し、次年度に何か1つでも実現できるよう検討することを確認しました。

【協議事項や主なご意見など】

●学校評価(中間評価)

⇒校務 DX についての具体的な取組や自己肯定感の評価割合について、ご質問やご意見をいただきました。

●公開研究会について

⇒市内教職員や市教委だけでなく、学校運営協議会の委員の皆様にも授業や子どもたちの実態をご覧いただき、地域からの意見を伺う機会として参加をお願いしました。

●委員改選について

⇒第3回学校運営協議会の場で改選について検討となりますが、現委員の皆様にも委員の継続をお願いしたい意向を伝えました。